日本でもミツバチ被害が広がっている

★ ネオニコチノイド系農薬などが原因でミツバチが大量死したとみられる県
▲ 農水省調査 (2009) 花粉交配用ミツバチが不足している県 (21 都県)
● 2010.4 農水省研究報告で農薬が関連するミツバチ死滅

北海道
ミツバチ大量死（日本農業新聞2008）
水田地帯中心に６月のイネドロオイムシ防除
７～８月カメムシ防除のクロチアニジン農薬散布
後にミツバチ被害2000群
道は養蜂農家とのすみ分けを指導

青森県
県はミツバチへの危害防止について、水稲カメムシ対策で
ダントツ（クロチアニジン）がミツバチに悪影響を及ぼす
恐れありと注意促す
2009年、ミツバチ対策会議が開催される

岩手県
700群のハチ死滅
近隣にてカメムシ防除のために
クロチアニジン散布直後
（2005）

山形県
2006年農薬で大量死
受粉期にミツバチとマメコバチが
飛ばなかった農家に人工授粉
（毎日新聞2009）

宮城県
ミツバチ不足で1972年以来初めてりんご園で
手作業で人工授粉（読売新聞2009）

石川県
ミツバチ来年も不足か、衰弱
越冬できない恐れ　県養蜂協会
（北国･富山新聞2009）

茨城県
ミツバチ大量死報道（2009）

岐阜県
2007年に水稲への
空中散布の後にミツバチ大量死
（個人養蜂家より）

栃木県
県養蜂組合はＪＡ全農栃木に、
殺虫剤空中散布に慎重に対応するように異例の要請

鳥取県
大栄スイカ
交配に必要なミツバチ不足
（2009）

千葉県
ミツバチ調達６割減
県は農水省に要望書提出（2009）

山口県
ミツバチ94群原因不明
被害（週刊中国新聞2009）

神奈川県
三浦半島周辺で
ミツバチほぼ全滅
（2008,2009）

佐賀県
ミツバチ大量失踪
ミツバチからウイルス？
（佐賀新聞2009）

長野県
県北部で農薬が原因と見られるミツバチ大量死が発生
「ミツバチ危険被害対策連絡会議」発足（長野日報2009）

長崎県
ミツバチ大量死
被害総数1910群（県養蜂協会2009）
ネオニコチノイド系農薬
ダントツが原因と疑われる

愛知県
豊橋市で大量死　殺虫剤が原因か（2009）
ミツバチ巣箱の盗難が続発　70箱以上が被害（読売新聞　2009）

兵庫県
丹波でミツバチ大量失踪（中日新聞　2010）

熊本県
ハチ被害発生（2003）
ダントツ水溶液が原因として疑われた。
県養蜂家組合調査、2008年
約1900群死滅

宮崎県
ミツバチ不足深刻
（読売新聞　2009）
西洋ミツバチ異変　巣箱前で
大量死　飛びたたないケース
（宮崎日日新聞2009）

「新農薬ネオニコチノイドが脅かすミツバチ・生態系・人間」パンフ2012年度版より

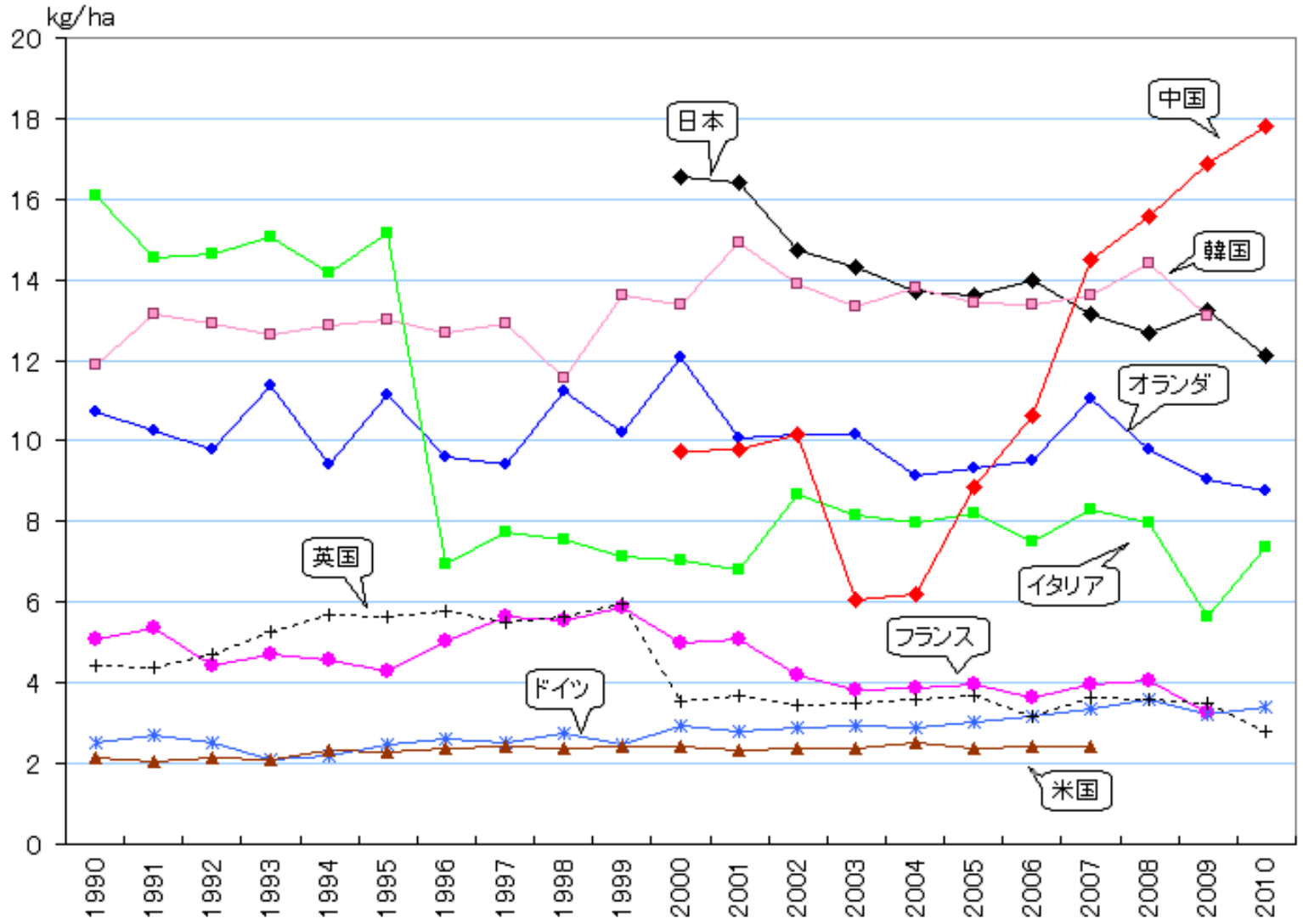
使用上の注意（スタークル粒剤）

ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。

1）ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。

2）養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めること。

主要国の農薬使用量推移



（注）Active ingredient use in Arable Land & Permanent Crops（耕地面積当たりの有効成分換算農薬使用量）。
農薬は農業用のみ（林野・公園・ゴルフ場など非農業用の農薬を除く）。
（資料）Faostat 2013.8.4

耕地面積当たりの農薬使用量

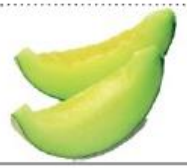
～2006年

日本が世界1位

2009年

1位　中国
2位　日本
3位　韓国

アセタミプリドの残留農薬基準値 (ppm)

食　品	日　本	米　国	EU
イチゴ	3	0.6	0.5
リンゴ	2	1.0	0.7
ナシ	2	1.0	0.7
ブドウ	5	0.35	0.2
スイカ	0.3	0.5	0.01*
メロン 	0.5	0.5	0.01*

食　品	日　本	米　国	EU
茶葉	30	50**	0.1*
トマト	2	0.2	0.15
キューリ	2	0.5	0.3
キャベツ	3	1.2	0.6
ブロッコリー	2	1.2	0.3
ピーマン	1	0.2	0.3

* 検出限界を基準値としている。** 米国では輸入茶に対してのみ50ppmの基準値を設定している。

「新農薬ネオニコチノイドが脅かすミツバチ・生態系・人間」パンフ2012年度版より

残留農薬基準値　日本とEUの比較

イチゴ	６倍
ブドウ	２５倍
茶葉	３００倍

ネオニコチノイド系農薬の特徴

浸透性
野菜や果物の中に浸透して果実や茎、葉、根を食害する害虫を殺す

残効性
無味無臭、そして殺虫効果が長く続くので農薬散布の回数を減らすことができる

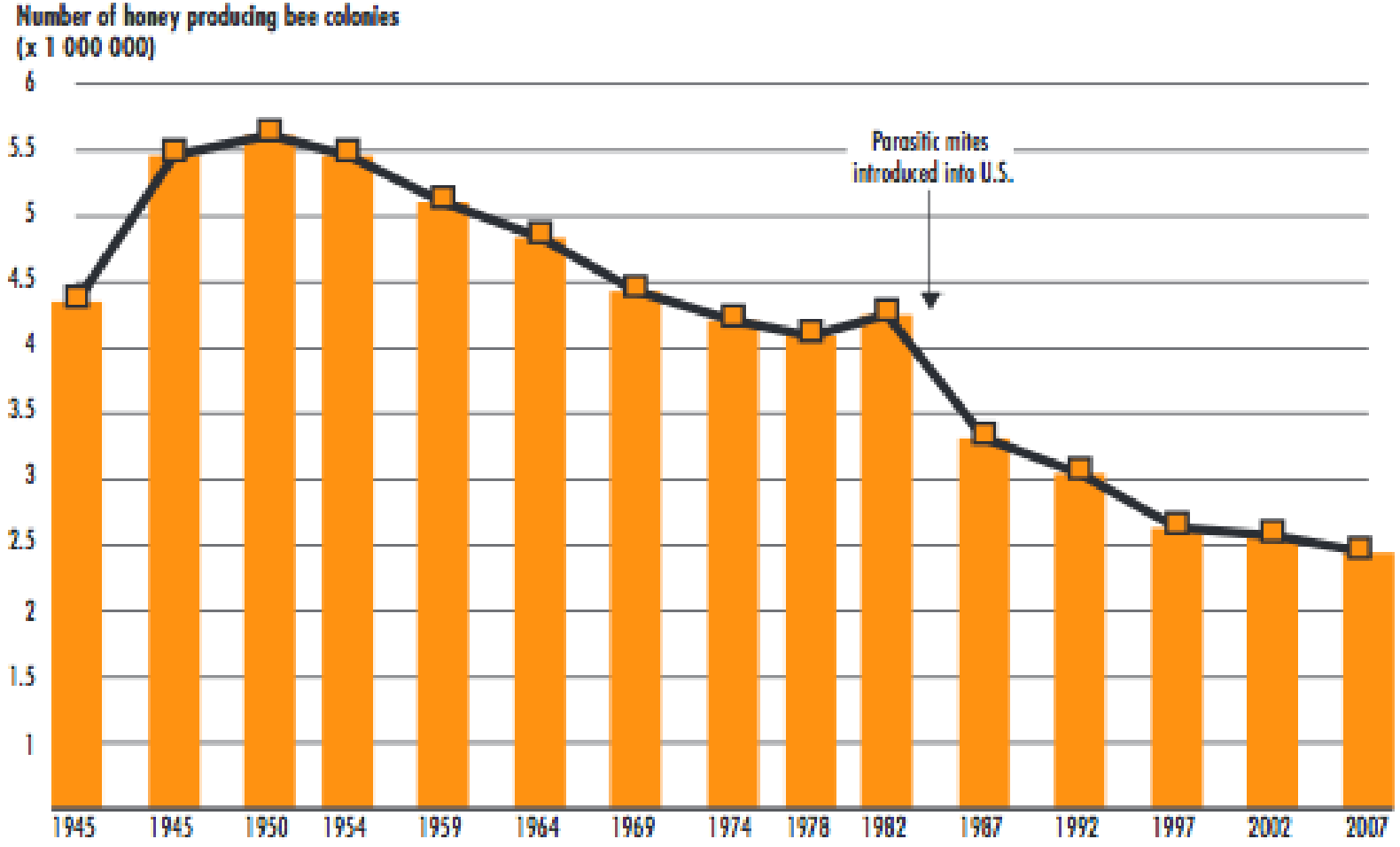
神経毒性
昆虫の神経経路を異常にして殺す農薬

もしハチが地球上からいなくなると、人間は
4年以上は生きられない。

ハチがいなくなると、受粉ができなくなり、
そして植物がいなくなり、
そして人間がいなくなる。

アルバート・アインシュタイン

Figure 4: US honey-producing colonies

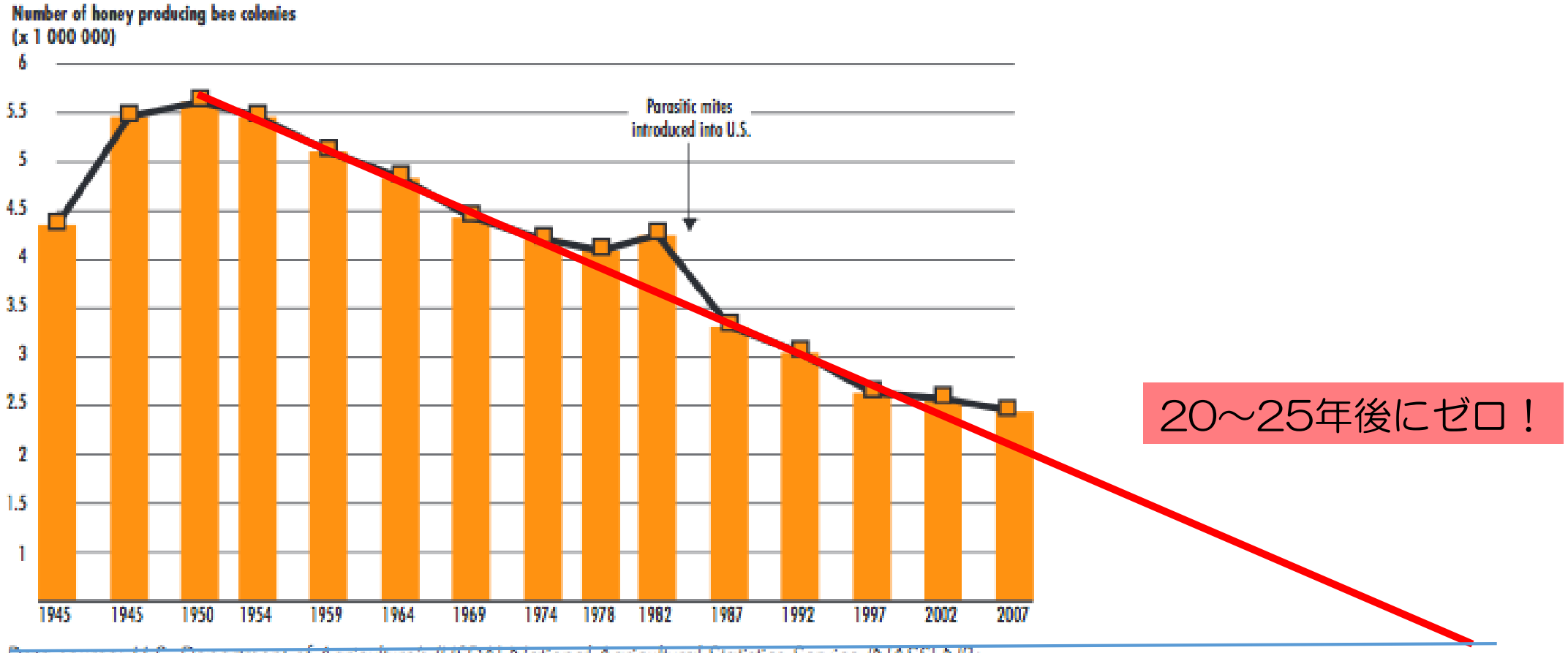


Data source: U.S. Department of Agriculture's (USDA) National Agricultural Statistics Service (NASS) NB: Data collected for producers with 5 or more colonies. Honey producing colonies are the maximum number of colonies from which honey was taken during the year. It is possible to take honey from colonies which did not survive the entire year.

UNEP（国連環境計画）がまとめた、USにおける生産力のある蜂コロニー数の推移

このまま減少が続くと、

Figure 4: US honey-producing colonies



Data source: U.S. Department of Agriculture's (USDA) National Agricultural Statistics Service (NASS) NB: Data collected for producers with 5 or more colonies. Honey producing colonies are the maximum number of colonies from which honey was taken during the year. It is possible to take honey from colonies which did not survive the entire year.

合成洗剤の追放を目指した石けん運動（1970年代）

滋賀県環境政策課WEBサイトより

画像：Greenpeace Japan